

事務事業名		北里大学海洋生命科学部連携交流推進事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	0:7: 相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現			事業期間	
	施策名	3:3: 地域間交流の推進				
	基本事業名	0:2: 都市間交流の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成15 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令						
所属	部課名	企画政策部企画調整課				
	係名	企画係	電話内線	0192-27-3111 212	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 06 13	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 北里大学海洋生命科学部がある横浜地区を中心に、全国各地から来た約600名にも及ぶ学生並びに関係者が生活を営んでいる。三陸での生活に慣れ親しみ、充実した生活を送りながら当地域の素晴らしさを理解してもらうことで、学部又は学生との文化的・経済的交流を推進する。 主な内容は、海洋生命科学部関係者との意見交換、学生の地域活動に関する支援、大学を市民へPRするなど。					全体計画( 期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 海洋生命科学部事務局との意見交換、学生の地域活動に関する支援、大学及び学生の活動を市民へPR 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 海洋生命科学部事務局との意見交換、学生の地域活動に関する支援、大学及び学生の活動を市民へPR、学生の就業力向上支援(北里大学就業力育成支援地域連携会議への参画)震災によりキャンパスが相模原へ一時移転しているため、再開に向けた要望活動等を実施する。		名称 単位 ア 市と大学・学生との打合せ回数 回 イ この事業で行った催事等の実施回数 回 ウ 市・大学から関係機関への要望回数 回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 北里大学海洋生命科学部の学生及び関係者		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 学生及び教職員数 人 キ ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交流し視野を広げ、お互いの理解を深めてもらう。 特に不便を感じることなく生活してもらう。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ イベントなど市内催事への学生サークル参加団体数 団体 シ この事業で行った市民の参加人数 人 ス 学部・学生からの要望への対応件数 件	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			452	355	20	20
		事業費計(A)	千円	0	0	452	355	20	20
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1,000	900	800	700	200	100
		人件費計(B)	千円	4,000	3,600	3,200	2,800	800	400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,000	3,600	3,652	3,155	820	420
活動指標	ア	回	18	26	18	15	4	5	
	イ	回	4	7	7	5	1	1	
	ウ	回	2	3	1	1	1	1	
対象指標	カ	人	600	600	591	595	600	613	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	団体	9	14	13	12	10	10	
	シ	人	180	470	664	1100	400	450	
	ス	件	5	3	3	3	1	1	

事務事業ID	0336	事務事業名	北里大学海洋生命科学部連携交流推進事業
--------	------	-------	---------------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**  
 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 平成15年度に大船渡市と北里大学水産学部（現：海洋生命科学部）との間で連携交流懇談会を開催し、連携交流に向けて進めていくこととなった。

事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 ・全国的な流れの中にある少子化の影響を受け、全国の大学では志願者数の減少となり、学生の確保が厳しい時代を迎えている。  
 ・平成20年6月に、大船渡市との間で地域連携に関する協定を締結した。  
 ・大震災により、平成23年度から海洋生命科学部の授業は、当分の間、相模原キャンパスで行うこととなった。  
 ・本市では、県と連携して、国及び北里大学本部に三陸キャンパスの早期再開を強く働きかけている。

この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 平成23年9月、大船渡市北里大学海洋生命科学部早期再開促進議員連盟が発足するなど、地元では、三陸キャンパスの早期再開を求める声強い。岩手県でも、海洋生命科学部の早期再開への支援を検討している。文部科学省としても、東北マリンサイエンス構想の一翼を担うとして、大学本部に対し、三陸キャンパスの早期再開を働きかけるとしている。

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は本市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 全国各地から来ている学生と市民及び本市との交流は、学生を介した市民レベルでの地域間交流であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を本市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 北里大学海洋生命科学部は、水産振興を市勢発展の原動力に位置づける本市にとって、産業振興上にとどまらず、教育文化等様々な面で貴重な存在であることから、市が積極的に関与すべきものである。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 大学及び学生並びに市及び市民が交流し、お互いを理解し合うものであり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 交流を進めることで、文化・経済面など、更なる成果向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 学部及び学生と市民との交流は、徐々に定着してきた感はあるものの、未だ交流が盛んであるとはいえない状況であり、当面、廃止・休止できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) 活力推進課「銀河連邦交流事業」 企画調整課「地域・大学連携推進事業」 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] <small>「地域大学連携推進事業」との統廃合は可能。          なお、活力推進課「銀河連邦交流事業」については、目的や枠組みが違うため統廃合することはできないが、引続き庁内での連携を図っていく。</small> <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 必要最小限の経費で対応しており、削減余地はない。
	人件費（延べ業務時間）の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 学部事務室との調整のほか、学生と市民との交流を促進するため、日常生活に関することから各種催事の提供など、広範囲にわたる支援を実施・提案することから、これ以上、人件費を削減することはできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 学部・学生とも、各種催事開催にあたっては、自らが実施できる分野は自らの負担により実施するとともに、市の支出も実施内容により適正に対応しており、公平・公正である。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) (総括) 海洋生命科学部等から、一定の評価をいただいた。特に、長年の懸案事項であった越喜来地区への光ブロードバンドサービス開始について、大きな評価をいただいた。これまでの取り組みにより、市民の理解度も、以前に比べ定着してきた感がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・これまでと同様に、学部事務室等との意見交換を通じて、必要な支援を展開していく。          ・北里大学関連の事務事業を実施可能な範囲でまとめることとし、企画調整課所管「北里大学海洋生命科学部連携交流促進事業」と「本事業(地域大学連携推進事業)」を統合する。          震災により、事業は休止となるが、三陸キャンパスの再開に向けた要望活動等は、議会をはじめ県などの関係機関を協力を得ながら推進する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>北里大学は、三陸キャンパスが被災し取壊す方針を固めた。当分の間、相模原キャンパスへ一時移転することとした。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長
-------	-------------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>連携交流を進めるうえで、三陸キャンパスの早期再開が不可欠であり、地元住民、議員連盟、県など関係者とともに、働きかけを強めていかなければならない。          他の類似事業との統合を検討する必要がある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>関係課と協議して類似事業との統合を進める。          機会をとらえて、北里大学相模原キャンパス及び北里大学本部を訪問し、当市の復興の状況を伝えながら、三陸キャンパスの早期再開を引き続き粘り強く働きかけていく。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------